

皆さんは自転車に乗ったことがありますか？
 おそらく、ほとんどの人が乗ったことがある、あるいは、子どもの頃はよく乗っていたという方が多いのではないのでしょうか。
 昨年9月、帯広市で自転車の保有率を調査したところ、10代はほぼ全員、20代30代で5割、60代70代でも6割の人が自転車を所有しているという結果でした。自転車は、子どもから高齢の方まで、多くの方が利用したことのある身近な乗り物の一つと言えるでしょう。
 私が初めて自転車に乗れたのは小学1年の春でした。母や兄と一緒に、何度も転びながら練習したものです。母にサドルを支えてもらい「離さないで」とお願いする私。「しっかりハンドルを握って、真つすぐ前を向いて」という母の声を背に、一生懸命にペダルを踏んでスピードを上げる。やがて、



「その調子、その調子」と、励ます母の声が遠ざかり、その時に初めて一人で乗れていることに気が付き、感動したことを思い出します。そして、その後に転んでしまったことも。
 歩ける範囲が自分の世界だった頃から、自転車で自分の行きたい場所へ自分の力で行けるようになり、行動範囲がいつぱんに広がった喜びや、高校時代の部活の仲間とのサイクリングは、今でも忘れられない思い出です。
 令和3年5月、十勝エリアを8の字に結ぶ全長400kmを超えるサイクルルート「トカプチ400」が、国のナショナルサイクルルートに指定されました。ここ十勝は、海と山、そして、広大な平野が広がる贅沢な風景があり、青い空、澄んだ空気、爽やかな風といった、自転車と相性が良い自然に恵まれています。近年、休憩・宿泊機能などの受け入れ環境も整いつつあり、ソフト・ハードの両面から一定の水準を満たすルートとして認められました。
 今後、「トカプチ400」を通じ、サイクルツーリズム（自転車を活用した観光）の面から、十勝・帯広が、さらに注目をされることを期待しています。
 自転車は、健康的で自由度が高く、環境面や経済面に優れている乗り物です。そして、何よりも、移り変わる風景や季節を感じながら「風を切る」心地良さが、大きな魅力なのだと思います。
 これから最高のサイクルシーズンを迎えます。世界が広がったあの頃を思い出して、十勝・帯広の初夏の風を楽しんでみるのも良いのではないのでしょうか。

まちづくりにあなたの声を

市長への手紙をお寄せください

市民協働のまちづくりを進めるために、この用紙を使って市政へのご提言・ご意見を、お寄せください。回答を希望される場合は、必ず住所、氏名をご記入ください。匿名の場合は回答することができません。文書で回答したものうち、その内容が広く市民生活、市民との協働によるまちづくりの参考となるものは、個人が特定できないように編集した上で広報紙やホームページなどに要旨を掲載します。お寄せいただいた内容の公開について、承諾いただけるかどうかをこの用紙のチェック欄でお知らせください。なお、個人情報については、帯広市個人情報保護条例に基づき適切に取り扱います。

問い合わせ
 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109）

×キリトリせん
 のりしろ

市長への手紙

ご意見・ご提言をお寄せください

市からの回答（□に✓を記入してください）
 回答不要 回答を希望する*1

ご意見などと回答の要旨を、広報紙やホームページなどに掲載してよろしいですか
 掲載してよい*2 掲載してほしくない（□に✓を記入してください）

ご住所：〒 帯広市

お名前： 年齢： 歳（代） 電話：（ ）

*1 住所・名前・電話が不明なもの、市政に関係のないご意見などで、市が回答できないものは回答いたしかねますのでご了承ください。
 *2 文書で回答したものうち、広くまちづくりの参考となるご意見などを編集して、個人が特定できない形で掲載します。（広報おびひろ 令和5年6月号）

×キリトリせん
 のりしろ



市長に寄せられた 市民の声

まちづくりを生かす「市民の声」

市では、皆さんのご意見やご要望である「市民の声」をお聴きし、まちづくりへ反映するように努めています。

問い合わせ 広報広聴課（市庁舎3階、☎65・4109）

令和4年度に寄せられた「市民の声」の多くは、「陳情・要望」「市長への手紙」であり、福祉分野や環境分野に寄せられたものが約半数を占めました。（表1・2）

市長への手紙

令和4年度に「市長への手紙」として寄せられたものの一部を紹介いたします。なお、回答については、当時のものを掲載しています。

声① 帯広の良いところを、もつと全国に向けて発信してほしい。（令和4年9月）

回答① 帯広市では、帯広観光コンベンション協会と連携しながら、帯広の雄大な自然や豊かな食文化など地域の魅力を活かした観光地の形成や環境整備のほか、インターネットやイベントなどを活用した観光情報の発信を行っています。

また、移住希望者に向けては、自然と都市環境が共存する住みよいまちとして魅力を発信しているほか、ふるさと納税においても、令和2年度以降、インターネットで申し込みできるポータルサイトの増設や魅力的な返礼品の導入などにより、寄附者の増加を図って

いるところです。

いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。引き続き、十勝・帯広の魅力発信に努めてまいります。

（担当） 観光交流課、市庁舎7階、☎65・4169

声② 災害時の避難場所は確保されているのでしょうか。（令和4年6月）

回答② 帯広市の災害時の被害想定では、地震時での避難所生活者数を最大で約1万9000人と想定しています。

指定避難所の収容可能人数は51カ所で約2万4000人としており、想定数の確保はできていますが、避難所生活者が想定数を超える場合や局地的な災害となった場合など、災害状況に合わせて、代替避難所（市役所やコミセンなど57カ所）の活用などにより収容施設を確保いたします。

避難所やハザードマップは、下の二次元コードからご確認ください。



（担当） 危機対策課、市庁舎5階、☎65・4103

表1 令和4年度「市民の声」の受理方法別件数

受理方法	市長への手紙	陳情・要望	市民トーク	その他 (電話・Eメールなど)	合計
件数	435	655	47	10	1,147
比率	37.9%	57.1%	4.1%	0.9%	100%



「市長からの返信」でも ご意見などにお答えしています

「市長からの返信」は、市民の皆さんから「市長への手紙」などでよく寄せられるご意見や疑問に、米沢市長自らが分かりやすくお伝えしているYouTube動画のシリーズです。ぜひご覧ください。

YouTube▶

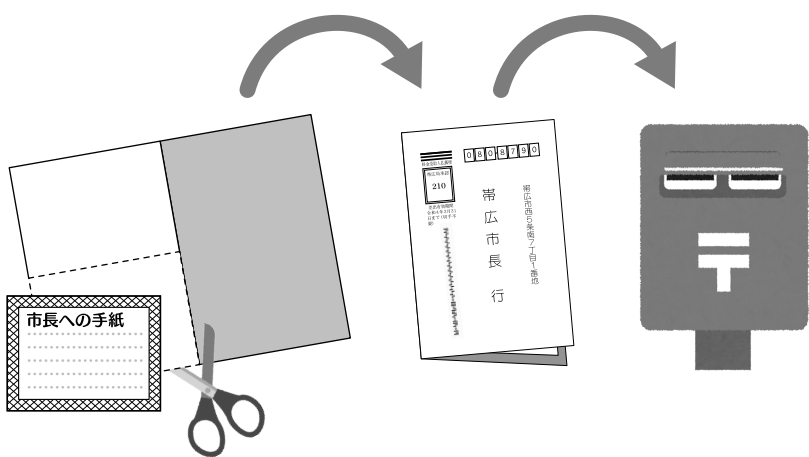


表2 令和4年度分野別「市民の声」

分野	政策	総務	福祉	経済	農業	環境	教育	生涯学習	水道	議会	その他	合計
件数	37	195	253	101	71	337	65	72	9	3	4	1,147
比率	3.2%	17.0%	22.1%	8.8%	6.2%	29.4%	5.7%	6.3%	0.8%	0.2%	0.3%	100%

●手紙用紙を紙面から切り離してお使いください

- ①キリトリセンに沿って切り離し、手紙を書く
- ②二つ折りにし、のりしろ部分を貼り合わせて投函



0808790

料金受取人払郵便

帯広局承認

1172

差出有効期間
令和7年3月31日
まで(切手不要)

帯広市長行

帯広市西5条南7丁目1番地